

JIS

鉄道車両ーパンタグラフ

JIS E 6302 : 2015

(JARI/JSA)

平成 27 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 鉄道技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	西 江 勇 二	公益財団法人鉄道総合技術研究所
(委員)	安 斎 信 雄	一般社団法人日本鉄道電気技術協会
	石 井 明 彦	東京都交通局
	入 夏 仁 美	東日本旅客鉄道株式会社
	金 杉 和 秋	西武鉄道株式会社 (一般社団法人日本民営鉄道協会)
	三 枝 長 生	一般社団法人日本鉄道施設協会
	齊 藤 嘉 久	株式会社京三製作所 (一般社団法人信号工業協会)
	田 中 裕 輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	寺 内 伸 雄	日本貨物鉄道株式会社
	本 間 英 寿	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	柳 川 秀 明	鉄道機器株式会社 (一般社団法人鉄道分岐器工業協会)
	四方田 圭 一	新日鐵住金株式会社 (一般社団法人日本鉄鋼連盟)

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 37.2.1 改正：平成 27.10.20

官 報 公 示：平成 27.10.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 淡路町サニービル TEL 03-3257-1901)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：鉄道技術専門委員会 (委員長 西江 勇二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省鉄道局 技術企画課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義並びに記号及び略語	2
4 性能	7
4.1 一般	7
4.2 車両限界	7
4.3 パンタグラフのストローク	7
4.4 電氣的数值	7
4.5 静押上力の許容範囲	7
4.6 鉄道車両の幅方向の剛性試験	8
4.7 集電舟	8
4.8 押上機構	8
4.9 自動降下装置	9
4.10 パンタグラフの質量及びパンタグラフ取付部の荷重	9
4.11 腐食防止対策	9
5 表示	9
6 試験	9
6.1 試験の種類	9
6.2 一般試験	10
6.3 動作試験	11
6.4 耐久性試験	12
6.5 耐衝撃試験（補足の形式試験）	14
6.6 鉄道車両の幅方向の剛性試験（形式試験）	15
6.7 空気漏れ試験	15
6.8 集電舟の可動範囲の測定（受渡試験）	16
6.9 折り畳み力の測定（形式試験）	16
6.10 全平均押上力（組合せ試験）	16
6.11 集電性能試験（組合せ試験）	17
6.12 温度上昇試験	17
6.13 最高速度における押上機構の試験（組合せ試験）	18
6.13A 耐電圧試験（受渡試験）	18
7 検査計画	18
8 信頼性	18
8.1 一般	18